WHITE PAPER

人材・キャリア事業者のための AI検索対策 実践ガイド

AIに正しく紹介され、実名で推薦されるための
施策と確かめ方

ことのはキャリア
代表 山田純輝（国家資格キャリアコンサルタント）
2026年11月10日 初版

この資料で分かること

仕事やキャリアの相談先、応募先を、AIに尋ねる人が増えています。
この資料は、検索からの集客が減った、手を打っても変化が見えないと感じている事業者に向けて、当社のサイトと支援先で確かめてきた内容をまとめました。
AIに正しく紹介され、候補に挙がるための考え方と手順を、自社で進められることと、専門家と進めたほうがよいことに分けて示しています。

01・02

AI検索で起きている変化と課題

求職者のAI利用に関する調査と、AIに正しく紹介されないときに起きていることを取り上げます。

03〜05

選ばれるための施策と確かめ方

当社と支援先で効果があった5つの施策と、似た名前のサービスとの混同を解いた事例、AIの回答の記録の取り方です。

06〜08

実例と、成果につなげる進め方

日付と条件を添えた実例と、読まれた記事を相談につなげる工夫、自社と専門家の役割分担をまとめました。

対象　人材紹介・派遣・教育・キャリアコーチングなどの経営者、メディアの責任者・担当者の方

© 2026 ことのはキャリア

就職・転職活動をした人の67.7%が、生成AIを利用

AIの回答は、求職者の判断にも、企業との出会いにも関わり始めています。

67.7%

就職・転職活動に生成AIを使った人

20〜49歳の1,296人のうち

66.5%

AIの回答をもとに応募・辞退などを決めた、または判断材料にした人

生成AIを活用した人のうち

62.8%

AIを通じて、名前を知らなかった企業を知った人

生成AIの利用経験がある988人のうち

人材紹介や派遣にとって、応募や辞退は成約までの歩留まりそのものです。AIの回答が意思決定に入り込んだ変化は、見過ごせないと考えています。

出典：CINC「就職・転職活動における生成AI利用の実態」（2026年8月発表）。対象は、現在または直近1年以内に就職・転職活動をした20〜49歳の1,296人。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

AIは「紹介・口コミ・公式サイト」の役割を、一度に担い始めている

代表の山田が転職エージェントとして働いていた頃、面談で登録のきっかけを聞くと、多かった答えは、知人の紹介、ネットの口コミ、公式サイトの確認でした。

これまでの登録のきっかけ		いまのAIの回答が担う役割
知人からの紹介	→	**知人のように、候補を薦める**
ネットの口コミ	→	**Web上の評判を、まとめて示す**
公式サイトの確認	→	**公式サイトを引用し、入口になる**

第三者からの言及を増やすだけでなく、公式サイトの情報を整えることも欠かせません。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

AIに正しく紹介されないときに起きている4つのこと

公式サイトに載せている情報でも、AIの回答では抜け落ちたり、ずれたりすることがあります。

1 候補に挙がらない

比較やおすすめを尋ねる質問で、社名が出てきません。第三者からの言及が少ないと、知名度の高いサービスが優先して並びがちです。

主な対策：「おすすめ」「費用」の記事の構成（p.7）、第三者からの言及（p.9）

2 似た名前のサービスと混同される

社名やサービス名が似ていると、別の会社の情報が混ざって紹介されることがあります。運営会社や対象など、見分けるための情報を公式サイトに示しておきたいところです。

主な対策：チェックリスト「誰が、何を提供しているか」（p.8）、支援先の事例（p.9）

3 古い情報や、食い違う数字が出る

料金や実績の数字がページごとに違うと、どちらがAIの回答に引用されるかを自社では選べません。古い記事の数字も、最新の公式の情報にそろえる必要があります。

主な対策：チェックリスト「なぜ選ばれるのか」（p.8）

4 強みが伝わらない

得意な職種や実績を、画像の中の文字だけで見せている状態です。Googleも、AI機能に向けた案内で、重要な内容をテキストで示すよう勧めています。

主な対策：画像主体からテキスト主体へのLP改修（p.7）

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

整えるのは「自社サイトの情報」と「第三者からの言及」の2つ

Googleは、AI機能のための特別な最適化は不要で、SEOの基本が引き続き有効だとしています。サービスを探す人に役立つ情報を、AIにも正しく伝わる形に整えることから始めます。



出典：GoogleのAI機能に関する案内（Google 検索セントラル）

AIの実名推薦に効果があった5つの施策

いずれも当社のサイトと支援先で試した施策です。おすすめ記事やLPなど、サービスを比べて選ぶときに読まれ、申し込みに近いページから手を入れています。

01	記事	**「おすすめ」「費用」の記事の構成づくり**	「20代の未経験転職に強いエージェントは？」のような質問に、見出しのすぐ下で答える構成です。
02	記事	**選定基準を明確にした比較表**	比べた基準を示すと、読み手もAIも、薦める理由をたどれます。表の内容は、構造化データとも一致させてください。
03	サイトの外	**監修者のサイト・SNSとの相互リンク**	関わりを明らかにしたうえで、監修した記事やサービスを紹介し、リンクでつないでいます。
04	プロフィール	**監修者のプロフィールページ**	資格名と登録番号、経歴、実績、顔写真をそろえ、検索エンジンやAIに専門家として認識される状態をつくります。
05	LP	**画像主体からテキスト主体へのLP改修**	強みや実績、相談の流れは、見出しと文章で書き起こすことが大切です。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

公式サイトの確認チェックリスト

AIに正しく伝わるかを確かめるための12項目です。自社のページと照らし合わせてお使いください。

誰が、何を提供しているか

- [ ] 社名・サービス名の正式な表記と読み方を、テキストで書いている
- [ ] 運営会社とサービスの関係が、ページ上で分かる
- [ ] 似た名前のサービスと見分けられる情報（運営会社・所在地・対象）がある

なぜ選ばれるのか

- [ ] 強みの根拠（実績・事例）を書いている
- [ ] 実績の数字に、時期・母数・出どころを添えている
- [ ] 同じ数字が、ほかのページや古い記事と食い違っていない

誰のためのサービスか

- [ ] 対象（年代・職種・状況）と、対象外を書いている
- [ ] 料金・プラン・期間を、画像ではなくテキストで書いている
- [ ] 相談から利用の終了までの流れを書いている

誰が責任を持つのか

- [ ] 代表・専門家のプロフィール（資格名・登録番号・経歴・顔写真）がある
- [ ] プロフィールと、記事・サービスページが相互にリンクしている
- [ ] 構造化データの内容が、ページに見える文章と一致している

チェックが付かなかった項目から、公式サイトに書き足すことをおすすめします。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

似た名前のサービスとの混同を解き、実名推薦まで（キャリルート）

支援先のキャリアコーチング「キャリルート」は当初、AIの回答を、名前の似た他社の「キャリート」に持っていかれる状態でした。この資料の施策を重ね、混同が解けただけでなく、比較の質問で実名で推薦されるまでになりました。

施策前
混同され、実名も挙がらない
後発のサービスで、Web上に第三者からの言及がほとんどありませんでした。

→

取り組み
専門家が一次情報を発信
代表の山田がnoteで料金の構造を解説し、X・YouTube・当社サイトからも実名で言及しています。

→

取り組み
LPをテキスト主体に
強みを入れ込み、画像ではなく見出しと文章で伝える形に改めました。

→

取り組み
評価者と基準を明示
おすすめ記事の冒頭に、評価した人の立場と、比べた観点を一文で示しています。

→

結果
混同が解け、実名で推薦
似た名前のサービスとは別に紹介され、「キャリアコーチング おすすめ 20代」などの比較の質問でも名前が挙がるようになりました（p.13）。

おすすめ記事に入れた一文
おすすめ度は、コーチの実績、サービスの特徴、費用などの観点から、特定企業のキャリアコーチではなく、国家資格キャリアコンサルタントが比較・評価して記載しています。

※新しい広告費はかけていません。比較サイトへの掲載も、AIに推薦されるための必須条件ではありません。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

AIの回答は、条件をそろえて記録しないと比べられない

回答は、検索する人や時期、聞き方によって変わります。1回の画面ではなく、同じ条件で重ねた記録をもとに判断します。

STEP 1
検討の段階ごとに検索ワードを用意する
情報収集なら「自分を知る 100の質問」、比較検討なら「キャリアコーチング おすすめ 20代」など

STEP 2
ゲストモードで朝・昼・夜に確かめる
検索履歴の影響を避け、推薦が安定しているかを見るため

STEP 3
検索ワードと画面をセットで残す
検索した日時と条件を、スクリーンショットに添える

記録する4つの点

1. 自社の名前が出るか
2. どのページが引用元か
3. ほかにどの会社が挙がっているか
4. どんな言葉で紹介されているか

Search Consoleで補う

Google Search Consoleの「生成 AI パフォーマンス レポート」では、AIによる概要とAIモードでの表示回数を、ページごとに確かめられます。分かるのは表示回数までで、自社で確かめるための検索も数に含まれる点に注意が必要です。

※表示や推薦の有無は検索サービス側の生成によるため、確約することはできません。

© 2026 ことのはキャリア

当社の実例：記事監修の外注先を探す言葉で、AIが当社を名前で紹介

「AI検索対策 記事監修」

AIによる概要で名前が挙がり、自然検索の1番目もトップページ

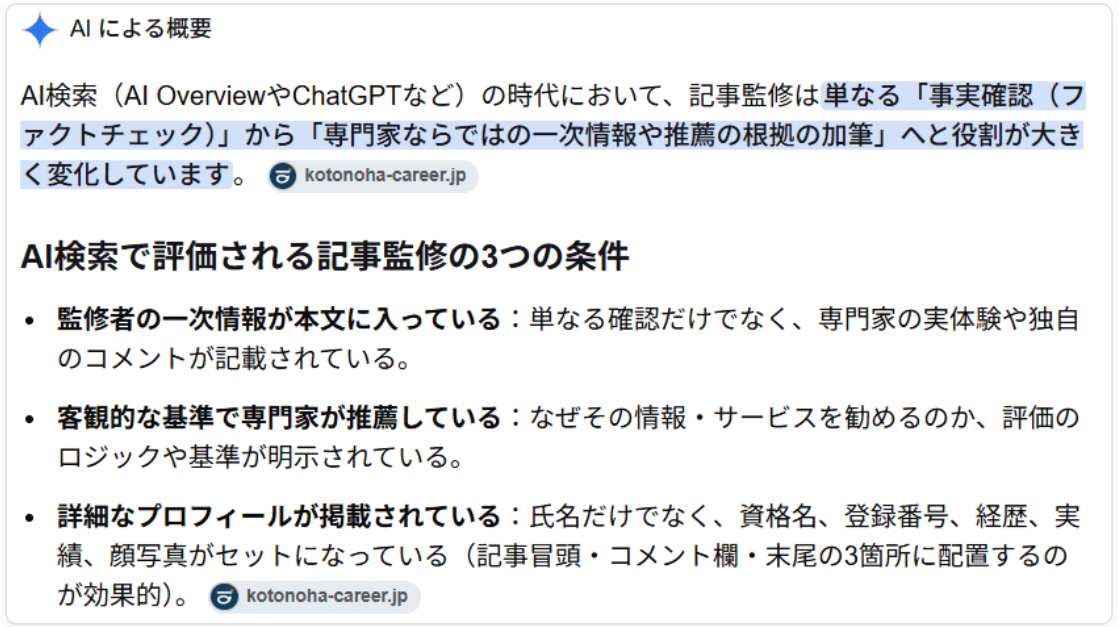


2026年11月、ゲストモードで「AI検索対策 記事監修」と検索した結果（上：AIによる概要の終盤、下：自然検索の1番目）

具体的な実践ノウハウの参考先として、「専門特化型の支援サービスや情報発信を行っている」ことのはキャリアと、代表のnoteが紹介されています。

「AI検索 記事監修」

当社の記事の「3つの条件」が、回答の骨格に



2026年11月、ゲストモードで「AI検索 記事監修」と検索した結果（AIによる概要）

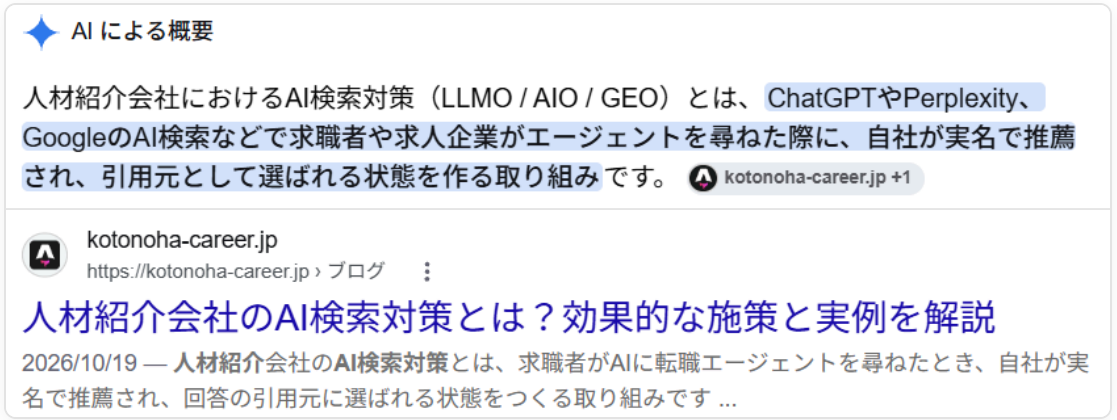
最初の文も当社の記事が出典で、並んだ条件は小見出しとほぼ同じ言葉です。

© 2026 ことのはキャリア

当社サイトの実例：人材紹介会社がAI検索対策を調べる言葉で、出典に

「人材紹介 AI検索対策」

AIが示した定義の出典に当社の記事、自然検索でも1番目

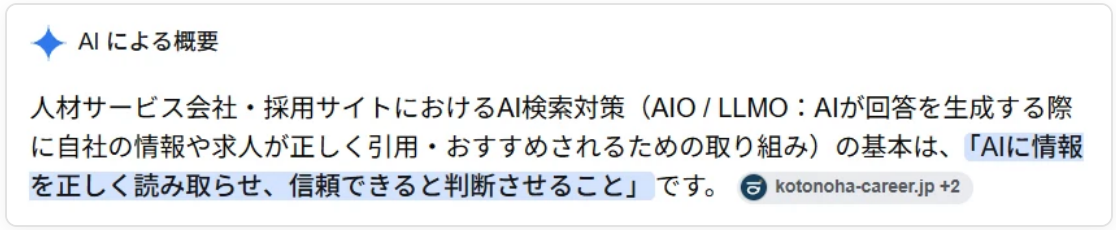


2026年11月、ゲストモードで「人材紹介 AI検索対策」と検索した結果（上：AIによる概要の冒頭、下：自然検索の1番目）

答えの言い回しも、当社の記事「人材紹介会社のAI検索対策とは？効果的な施策と実例を解説」の冒頭の定義に近いものでした。

人材サービス会社の質問

サイトの開設から1か月足らずで、最初の文の出典に



2026年11月、ゲストモードで検索した結果（AIによる概要の冒頭）

人材サービス会社が、AI検索対策の基本を尋ねた質問です。答えの最初の文では、「AIに情報を正しく読み取らせ、信頼できると判断させること」と説明されています。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

支援先の実例：キャリルートが、ほかのサービスと並んで実名で推薦

9ページで紹介した施策のあとの画面です。

「キャリアコーチング おすすめ 20代」

AIモードの5社の比較表で、1行目に

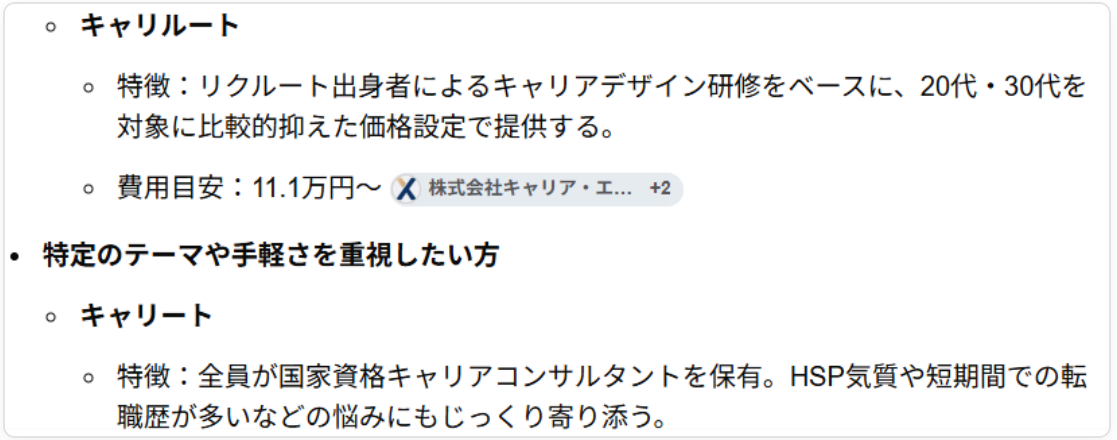


ゲストモードで検索した結果（AIモード）

利用を検討する人が使う比較の言葉で、料金の目安とともに紹介されています。

社会人向けのキャリアコーチングを尋ねる質問

当社が監修した記事が、推薦の出典に



2026年11月、ゲストモードで「社会人向けのおすすめのキャリアコーチングサービスは何ですか？」と検索した結果（AIによる概要）

目的別のおすすめの中で、名前の似た「キャリート」とは別の欄に紹介されています。

説明の出典は、当社が監修し、コメントを加えたキャリア・エックス様の記事です。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

支援先の実例：監修記事がAIによる概要に引用され、相談先として紹介

株式会社キャリア・エックス様（キャリアコラム）

一次情報が引用され、サービスが相談先として実名で紹介



2026年10月、ゲストモードで「仕事向いてない見切り」と検索した結果（AIによる概要）

公開後のリライトで、面談経験にもとづく一次情報と、推薦の理由を添えた監修者コメントを加えました。

株式会社ジェイック様（ジェイック就職カレッジ）

監修した記事が、AIによる概要の出典に



2026年10月、ゲストモードで「25歳 無職」と検索した結果（AIによる概要の出典）

出典に挙がったのは「25歳で無職だと終わり？就職難易度と就職する方法5ステップを解説」です。

読まれた記事を相談につなげるのは、自社の紹介とCTA

AIに引用されて記事が読まれても、相談につながらなければ、メディアを運営する目的は果たせません。AI検索で出会った読み手を、成果まで導く最後の一歩です。

支援先のメディアでは、どの記事にも同じ紹介文を入れていたところから、読み手に合わせて見直しました

情報収集の検索ワード

「自分を知る 100の質問」の記事

100問が、サービスのもとになった研修で使われてきた問いだと紹介し、リストのすぐ後に自己分析シートの受け取りを置いています。予約ページへ進む読み手の割合が高い記事です。

情報収集の検索ワード

「価値観とは」の記事

同じ考え方で紹介とCTAを見直し、LINEの登録や相談の予約といったコンバージョンが伸びました。

見直しの観点 1

情報収集・比較検討・申し込みの直前のうち、どの段階で読まれる記事かを決める

見直しの観点 2

紹介は、記事の悩みに対して自社が何をできるかから書き、実績の羅列から始めない

見直しの観点 3

段階に合わせて、CTAで求める行動の大きさを変える（例：情報収集の記事なら、資料の受け取りやLINEの登録）

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

自社で進められること、専門家と進めたほうがよいこと

この資料で紹介したことの多くは、自社でも今日から始められます。一方で、次の3つは社内の力だけでは補いにくく、人材業界の実務と資格をもつ専門家と組むことで進めやすくなる部分です。

自社で進められること

- ☐ 条件をそろえて、AIの回答を記録する（p.10）
- ☐ チェックリストで公式サイトを見直し、書き足す（p.8）
- ☐ 疑問に冒頭で答える構成や、テキスト主体のLPにする（p.7）
- ☐ 記事ごとに、自社の紹介とCTAを見直す（p.15）

Googleの考え方

Googleは生成AI検索向けのガイドで、実体験や専門家の知見による独自の内容を、長い目で最も効きやすい施策としています。2026年10月の更新では、コンテンツの作成に関する文書に、品質評価者が見る4つの属性（人の労力、独自性、専門知識を含む才能やスキル、正確性）が加わりました。

出典：生成AI機能に向けた最適化のガイド、ユーザー第一のコンテンツの作成に関する文書（いずれも Google 検索セントラル）

専門家と進めたほうがよいこと

監修

資格と現場の経験にもとづく一次情報を加え、内容に責任を持ちます。監修できる有資格者が社内にいなければ、外の力が要ります。

第三者からの言及

自社だけでは増やせません。専門家のサイトやSNSでの言及が、AIの推薦を後押しします。当社でも、代表の山田が自ら運営するメディアでの紹介が、支援先の実名推薦（p.9）と直接の相談の両方につながっています。

客観視

自社の強みは社内から見えにくく、載せる情報に迷ったり、利用者の関心とずれた訴求になったりしがちです。AI検索の無料診断（p.19）で、外からの見え方を一緒に確かめられます。

© 2026 ことのはキャリア 無料診断・ご相談：kotonoha-career.jp/contact/

AIに選ばれる土台づくりから、記事監修まで

人材業界9年・4,000名超の面談経験をもつ国家資格キャリアコンサルタントが、戦略から実行まで一人で担当します。

新サービス

AI検索対策 導入プラン

25万円

- 施策前のAIの回答を、日付と条件つきで記録
- ヒアリングをもとに、1〜3ページの構成・原稿と構造化データを作成
- 検索ワードの一覧と記録の仕方をお渡しし、公開の1か月後か2か月後（おすすめは2か月後）に確かめ直す

当社の基準を満たした場合は、取引関係を明記したうえで、ことのはキャリアのサイトでおすすめできる相談先としてご紹介します。

1本ごと

E-E-A-T強化プラン

1本 5万円（4本から）

- 国家資格キャリアコンサルタントとしての事実確認（ファクトチェック）
- 一次情報をふまえた監修コメントの挿入（1記事1か所）
- プロフィールと顔写真の提供、掲載

月額

SEO・AI検索強化プラン

月額 50万円

- E-E-A-T強化プランの内容すべて（記事監修は月最大10本）
- AI検索による引用・推薦を狙う構成のアドバイスと、監修コメント（2〜3か所）
- 月1回の定例ミーティングと、Slack等での日々の相談

月額

CVR最大化プラン

月額 100万円

- E-E-A-T強化プランとSEO・AI検索強化プランの内容すべて
- アクセス解析にもとづくCVR最大化のコンサルティング、LPO・EFO
- LINEステップ配信案のアドバイス、「顔出し監修動画」の企画・撮影・提供

どのプランが合うか、そもそも依頼が必要かは、無料診断でお伝えします（p.19）。

料金はすべて税別です。記事監修・AI検索対策のプランは初期費用0円で、月額のものは1か月単位で解約できます。詳しい内容は、「プラン・料金」のページ（kotonoha-career.jp/plan/）でご覧いただけます。

© 2026 ことのはキャリア



山田純輝（Junki Yamada）

ことのはキャリア 代表／人材業界特化のAI検索対策・記事監修の専門家

国家資格キャリアコンサルタント（登録番号：25048322）

キャリア面談 4,000名超　**記事監修 40本以上**

大学を卒業後、リクルートライフスタイルに入社。広告営業職として1年半従事した後、一貫して人材業界で9年間勤務。事業会社、行政、学校などキャリア面談対応数は4,000名を超える。

前職の人材紹介会社には支店の立ち上げメンバーとして参画し、両面型の転職エージェント業務に従事。MVPを受賞後、全社最短でマネージャーに昇進し、マネージャー賞の受賞やメンバーから複数のMVP輩出を経験。面接や内定者の入社フォローなど、自社採用にも携わる。

在職中の2024年から、個人でSEOに取り組み、執筆した記事の半数以上が上位表示を獲得。「ことのはキャリア」を独立開業し、企業からSEOライティングや記事監修の依頼を受ける中で、人材業界での実務経験とSEOを掛け合わせた事業の展開を決断。

「人生が変わる言葉を届ける」を理念に掲げ、人材業界特化の監修型コンテンツマーケターとしてメディア戦略立案から構造・導線設計、E-E-A-T強化、AI検索対策、キャリアコンサルタントとしての記事監修までを一気通貫で支援。

Web　kotonoha-career.jp
YouTube　@kotonoha_career
note　note.com/yamada_memo
X　@sinro023

AI検索の無料診断で、現状と次の一手を整理します

1 事前に調べる
貴社の見込み客が使いそうな検索ワードを当社で用意し、AIの回答を事前に調べます。

2 画面を共有して、一緒に見る
オンライン（45分）で画面を共有しながら、貴社やサービスの紹介のされ方を一緒に確かめる場です。

3 次の一手を話す
結果をふまえて、何をどう整えるか、それとも今のままでよいかをお伝えします。

当社サービスを一方的にご案内する場ではありません。貴社に合わない場合は、ほかの選択肢も含めて率直にお伝えします。すでにSEOやAI検索対策の支援会社と取り組んでいる場合の、セカンドオピニオンとしてもお使いください。記事監修やプランのご相談も、同じフォームから受け付けています。

スマートフォンで読み取ると、申し込みフォームが開きます

無料診断は、毎月2社限定でお受けしています

無料診断を申し込む

kotonoha-career.jp/contact/

お問い合わせフォームで「AI検索の無料診断」を選んでください

© 2026 ことのはキャリア